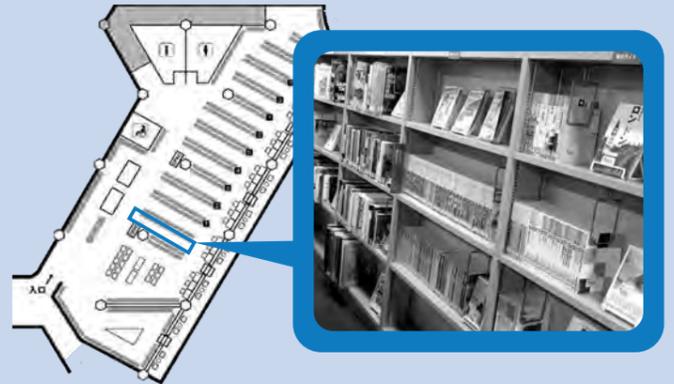


Service News [サービス・ニュース]

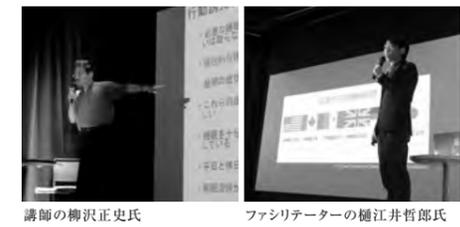
2F パープルゾーン 観光情報コーナーがバージョンアップ!

3Fのグリーンゾーンに並べてあった旅行ガイドブックや外国語で日本を紹介している資料を、2Fのパープルゾーン「観光情報コーナー」に集めました。向かいの棚には、江戸・東京のガイド本や千代田区ガイドなどの資料も並んでいます。旅行や出張に、調べやすくなった観光情報コーナーの資料をぜひ活用ください。



「眠れていますか? 科学者と睡眠について語る夜」 日比谷カレッジ報告

世界トップレベルで睡眠・覚醒メカニズムの謎に挑む柳沢氏の、専門的でありながら非常に分かりやすい講演と、ファシリテーター樋江井氏の的確なコメントにより、私たちの生活に不可欠な睡眠についての理解が深まりました。「対話」に重点を置いた今講演では参加者から活発に質問の挙手があり、個人の視点から、そして社会全体の視点から「より良い睡眠をとるためにできること」を考えるきっかけとなった七夕の夜でした。



講師の柳沢正史氏 ファシリテーターの樋江井哲郎氏

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

夏休みの宿題も専門の司書がサポート! 調べもの戦隊レファレンジャー

本探しの助っ人「調べもの戦隊レファレンジャー」が今年もやってきます! 千代田区内の小・中学校などで、読書活動をバックアップしている児童書専門の司書が、レファレンスサービスと読書相談をお受けします。気軽に声をかけてください!

ZONE PICK UP! 3F グリーンゾーン 【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

見知らんJAPAN ~地域の魅力再発見~

今注目されている、地域創生や地方移住。テーマに沿った本と共に、その地域の人々や暮らし、風土を紹介しているフリーペーパーもあわせて展示しています。発行元は自治体、地元企業、個人などさまざまですが、どの冊子からも地域の魅力を伝えたいという熱い想いが伝わってきますので、ぜひ手に取ってご覧ください。また、千代田区の姉妹都市を紹介しているほか、日本遺産や観光政策に関連した資料も集めています。

6/20~8/20 ▶北海道・東北エリア、関東エリア、北陸・中部エリア 8/22~10/13 ▶関西エリア、中国・四国エリア、九州・沖縄エリア



8 Exhibit Information 8月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「幕末の世界 ~大政奉還から150年~」(~/9/15) 大政奉還から150年の節目を迎える2017年、パープルゾーンでは幕末の中心人物や事件、舞台となった場所などに関する本を展示するとともに、同時期の海外の文化や出来事も紹介します。 特別展「ネイチャーズベスト 傑作写真展」関連展示(三角台、~/8/9)

2F ホール 「原爆を伝える2017 @原爆から蘇った花と木」(~/8/18) NEW! 日比谷カレッジ「アジアの子どもたちの読書環境と「絵本を届ける運動」ワークショップ」関連展示(~/8/19) NEW! 「千代田区生きものさがし 2017」関連展示(~/10/31)

3F ブルーゾーン 「色と光」(~/8/18) 人の心理・行動に影響を与える「色」は、光源・物体・視覚の3つで構成されています。この科学的な性質を紹介した資料をはじめ、文化、文学、アートなど多種多様な方面から「色」と「光」の関係性について考える展示です。

3F ホール 「原爆を伝える2017 ①『おこりじぞう』原画展」(ガラスケース、~/8/18) NEW! 千代田区「原爆の被害と平和の大切さを伝える」パネル展(8/3~8/13) NEW!

◎ こどもの読書相談 宿題や自由研究の調べもの、読書感想文に適した本をお子様と一緒に探します。

◎ 保護者の読書相談 読み聞かせ方法や絵本の選び方などの相談を承ります。

■レファレンジャー出動日時 ※随時受付・無料 千代田図書館 10階 児童書コーナー 7月21日(金)~8月31日(木) 各日午前9時~午後5時 ※休館日を除く 四番町図書館 こども図書館 8月7日(月)~8月10日(木) 各日午前9時~午後5時

EXHIBITION BOOK DESIGN 触れて発見! 時代で比べるブックデザイン展

「造本装幀コンクール」受賞作品 × 内田嘉吉文庫

「美しい本」づくりをめざし、出版文化の発展を促すことを目的に始まった「造本装幀コンクール」は昨年50回を数えました。この間に本を取り巻く環境は大きく様変わりしましたが、紙の本の魅力は衰えることはありません。本企画では、「造本装幀コンクール」第50回(2016年度)受賞作品と、特別研究所蔵「内田嘉吉文庫」の中から、西洋の装幀技術の粋を尽くした豪華洋装本や、ブックデザインを意識し始めた19世紀以降の魅力的な本もあわせて展示しています。本にじかに触れてブックデザインの歴史を感じてください。

【展示構成】 ■「造本装幀コンクール」第50回受賞作品20点 ■内田嘉吉文庫約20点 ※内田嘉吉文庫のみ会期中展示替えがあります。



■企画展示関連講座 古書で紐解く近現代史セミナー第27回 8/26(土) ブックデザインが果たすべき使命 「造本装幀コンクール」50年を振り返って 講師: 柏木博 (武蔵野美術大学名誉教授) 「造本装幀コンクール」審査員を務める講師が、ブックデザインの歴史と当コンクール50年を振り返り、今後の出版産業・出版文化の発展において「造本装幀」が果たすべき使命について語ります。

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2017年8月							2017年9月						
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp



access 【都営地下鉄】 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 ●東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線 ●「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分 ●千代田線 ●「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

8・9月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

8/2 家庭料理の変遷 ～明治から昭和へ～

講師:江原 絢子(東京家政学院大学名誉教授)

家庭料理は、明治後期の社会の変化により、西洋文化の影響が加わり少しずつ変遷を遂げてきました。その変遷に影響を与えたと考えられる料理書、雑誌、新聞などを通して、新しい生活様式となった食文化の背景と変遷された課題について考えたいと思います。

■日時:8月2日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円



福田琴月「衛生と衣食住」(明治44/1911年)個人蔵

8/4 世界の音楽 2017-2018 キルギスの伝統楽器コムズの調べ

講師:ウメトバエワ・カリマン(コムズ演奏家)

キルギスは天山山脈などの山々に囲まれ、「中央アジアのスイス」「シルクロードの十字路口」とも呼ばれ、美しい自然と豊かな歴史を持っています。昔、シベリアのエニセイ川のほとりに住んでいた遊牧民が西方へ南下し、今のキルギスに定住したと言われ、「肉好きは西方(キルギス)へ、魚好きは東方(日本)へ」という話もあります。そんな自然と歴史をイメージしながらコムズの調べに耳を傾けてみませんか。

■日時:8月4日(金)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



8/9 日本の女性画家たち ～平安時代から近・現代まで～ 第1回 上村松園とその時代

講師:三戸 信恵(山種美術館特別研究員)

日本の歴史に名を刻む画家はそのほとんどが男性です。しかし、上村松園をはじめとして、それぞれの時代、画家としての足跡を残している女性画家は、知られざる女性画家の多彩な歴史と活動のあり方についてひも解いていきます。

■日時:8月9日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円



上村松園《蛭》1913(大正2) 絹本・彩色 山種美術館

8/19 アジアの子どもたちの読書環境と「絵本を届ける運動」ワークショップ

講師:鈴木 晶子(公益社団法人ジャンティ国際ボランティア会 広報課 課長)

カンボジア、ラオス、ミャンマーなどアジアの国々の子どもたちは、どのような読書環境に置かれているのでしょうか。その子どもたちにとって「本を読む」ことの意味、そして図書館とはどんな存在なのでしょう。現地のお話を聞いた後は、絵本に翻訳シールを貼るワークショップを行います。

■日時:8月19日(土)14:00～16:00(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:40名 ■参加費:1500円
※材料費込み。完成した絵本はアジアの子どもたちに贈る為、持ち帰りできません。



©Yoshifumi Kawabata

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

8/20 ピースビレッジ 第55回 衣食住+art ～誰かのために、何かのために、未来のために～

講師:名取 美穂(特定非営利活動法人 パーンロムサイジャパン代表)

子どもの創造力をのばし、生きる技を身に着けることの大切さ、そしてそれをシェアするという思いが循環する社会を+artと表現し活動の核にしている、北タイ・チェンマイにHIV母子感染孤児たちの家として設立されたパーンロムサイをご紹介しながら、新たな平和な社会の可能性を考えます。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催:日比谷図書文化館)

■日時:8月20日(日)14:00～16:30(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:3000円



8/26 有楽町の“ラジオ屋” 上柳昌彦の今までとこれから

講師:上柳 昌彦(ニッポン放送アナウンサー)

千代田区有楽町のラジオ局で数々の番組を担当してきた上柳氏。いつも私たちにそと寄り添い、ラジオの向こうから支えてくれた「うえちゃん」も、今年で60歳という大きな区切りを迎えます。ラジオパーソナリティとして、ビジネスマンとして駆け抜けてきた今までの時間を振り返り、これからのこと、そしてラジオやリスナー、千代田区有楽町という場所への想いをお話いただけます。

■日時:8月26日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



8/29 アルセーヌ・ルパンシリーズの魅力とは? —怪盗の素顔—

講師:平岡 敦(フランス文学翻訳家)

ルパンは1905年、フランスの新聞小説に登場して以来、永遠のヒーローとして読者を魅了し続けています。そうしたルパン・シリーズの魅力、ルパンのキャラクター、ミステリ小説としての特徴、シリーズの変遷、映像化作品への発展、作者モーリス・ルブランについてなど、多方面からお話します。

■日時:8月29日(火)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



8/30 私のターニングポイント ～どうやって壁を乗り越えたか 逆境をチャンスに

講師:西崎 幸広(プロ野球解説)、吉井 妙子(ジャーナリスト)

トレンドイエースと呼ばれ、女性客が球場に足を運ぶきっかけを作った西崎幸広氏ですが、その後怪我に泣かされどん底へ。しかし、トレードされた西武ライオンズでいかにして逆境を乗り越えたのか。また、現在の若手選手をどう見ているのか、ジャーナリスト吉井妙子氏との対談形式で語ります。(主催:公益財団法人上廣倫理財団、共催:日比谷図書文化館)

■日時:8月30日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



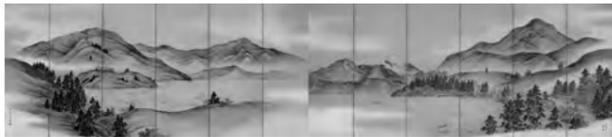
西崎 幸広

9/6 日本の女性画家たち ～平安時代から近・現代まで～ 第2回 女性による書画制作の歴史: 平安時代の女房から近代の文人まで

講師:三戸 信恵(山種美術館特別研究員)

日本に女性の画家が登場したのはいつ頃だと思いませんか?実は、記録の上では平安時代にまで遡ることができ、江戸時代以降はさまざまな流派、ジャンルで活躍が認められます。今回は、こうした知られざる日本の女性画家の歴史的な展開をひも解いていきます。

■日時:9月6日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



野口小菊《箱根真景園》絹本・彩色 山種美術館

9/11 星とめぐる時間旅行 星のれきし ～星と人々

講師:皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

地球はいつから丸く、動くようになったのでしょうか?人は手の届かない星や宇宙とどのように関わり、どうやって星空からのメッセージを解読するようになったのでしょうか?天文学者や出来事をピックアップしながら、宇宙と人間の歴史をめぐります。

■日時:9月11日(月)19:00～21:00(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円



「永遠の時」皆川敏春氏撮影

9/12 将来型モビリティは近い将来を変えるか?

講師:太田 志乃(一般財団法人機械振興協会経済研究所 調査研究部 研究副主幹) ナビゲーター:志水 正敏(日本科学未来館 科学コミュニケーター)

移動距離を問わず便利な乗り物「クルマ」。しかし超高齢社会を迎える日本にとって、四輪車タイプのそれは必ずしもベストとは言えません。これからの乗り物である「将来型モビリティ」の、自動車産業で培われた技術を用いた実際の取組や、今後の可能性を考える講座です。(協力:一般財団法人機械振興協会BICライブラリ)

■日時:9月12日(火)19:00～20:45(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

9/13 江戸文化歴史検定×ジャパンレッジ講演会 お江戸ルはーりー文化講座⑤ 幕末・維新のバイプレイヤーズ ～ヒーローを陰で支えた名脇役6人

講師:堀口菜純(タレント・歴史作家) 山本博文(東京大学史料編纂所教授)

ほーりーこと堀口菜純氏の江戸講座第5弾。戊辰戦争150周年。幕末から明治維新へと続く大きな転換期に坂本龍馬、西郷隆盛、勝海舟らヒーローの陰に隠れながらも、日本の激動の時代と真摯に向き合った名脇役を解説します。東京大学山本教授がご意見番として登場します。(主催:一般社団法人江戸文化歴史検定協会、株式会社ネットアドバンス、共催:日比谷図書文化館)

■日時:9月13日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円



左から 堀口菜純、山本博文

9/13 近代日本ものづくり研究会 日比谷カレッジ版 Safety First ～「安全第一」に学ぶ 一内田嘉吉の提言から現代の産業リスク管理を考える～

講師:中田 邦臣(NPOリスクセンス研究会副理事長)

実務と研究双方の面から産業安全活動に取り組んできた講師が、内田嘉吉著『安全第一』(丁未出版社/1917年)との出会いと復刻の経緯について語るとともに、100年前に内田嘉吉が本書で提言したことから、産業界におけるリスク管理のあり方と、今後の産業安全活動の展開について考察します。

■日時:9月13日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名
■参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



『安全第一』(内田嘉吉著/丁未出版社/1917年)表紙

9/14 京劇の歴史と魅力 一日本人から見ても面白い東洋的な発想と美意識

講師:加藤 徹(明治大学法学部教授)

中国の伝統音楽劇である「京劇」は、いわば「動く美術館」です。日本の歌舞伎や能楽と同じく、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。本講座では、ビデオや写真を使い、初心者にもわかりやすく京劇の歴史と面白さを解説しますので、気軽に参加してください。

■日時:9月14日(木)19:00～20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円



シンガポールの演劇祭にて「白蛇伝・断桥」の俳優さんと

特別展 世界が見た、驚きと感動の大自然
ネイチャーズベスト傑作写真展
8月9日(水)まで

特別展「世界が見た、驚きと感動の大自然 ネイチャーズベスト傑作写真展」の会期が残りわずかとなりました。動物たちの意外な表情、空・海・小さな生き物たちの世界や雄大な自然の姿など、普段みることの出来ない世界に驚きや感動を覚えます。写真や自然に興味がある方はもちろんの事、どなた様でも楽しめる写真展です。是非お見逃しなく!



©Montse Grillo / Nature's Best Photography

■会期:開催中～8月9日(水) ■観覧時間:平日10:00～20:00、土曜10:00～19:00、日祝10:00～17:00(入室は閉室の30分前まで)
■会場:千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室
■観覧料:一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳・指定難病受給証をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。

ポモータ広報室より

日比谷図書文化館は、お盆期間中も通常開館しています。図書だけではなく、講演会や講座などを行っている日比谷カレッジや各フロアの展示などお楽しみいただけます。学生の方は自由研究や宿題のヒントに、旅行を計画されている方は目的地の情報集めに、また、ゆっくりと時間を過ごされる方は日比谷カレッジへの参加や興味がある分野の読書など、様々なアプローチでご活用ください。